

夏だ！海と地域医療体験ツアー in 高浜2024 実績報告

【概要】

令和6年7月24日から8月18日まで、地域医療に関心のある医療系学生（医学生・看護学生など）や研修医を対象とし、高浜の地域や海を楽しみながら地域医療実習を体験できる企画を、地元観光協会や若狭和田ライフセーバーの協力のもと、高浜町が福井大学医学部に設立している寄附講座「地域プライマリケア講座」と高浜町の共催で開催しました。

また、実習内容については「JCHO若狭高浜病院」と「和田診療所」での合同実習として実施しました。

【開催日程及び参加人数】

コース	期間	参加人数	備考
コース①	7月24日(水)～7月28日(日)	4名	
コース②	7月31日(水)～8月4日(日)	1名	
コース③	8月7日(水)～8月11日(日)	6名	
コース④	8月14日(水)～8月18日(日)	6名	

○医師1名、研修医2名、医学生11名、看護学生3名 計17名
○上記の参加者に加えて、救護所ボランティア1名（※過去のツアー参加者から自主的に参加、医師1名）
○各コース最大6名受け入れで実施

【実習の主な内容】

曜日	内容	備考
水曜日	オリエンテーション・地域医療、家庭医療レクチャー	
木・金曜日	外来・病棟実習等・在宅医療実習等	JCHO若狭高浜 和田診療所
土・日曜日・祝日	救護所での救護ボランティア体験（JCHO若狭高浜病院・和田診療所スタッフ指導、若狭和田ライフセービングクラブ協力）	若狭和田ビーチ救護所
フィードバック	指導医といっしょに、実習記録をもとに参加者全員でフィードバック	実習終了後／全日程（毎日）

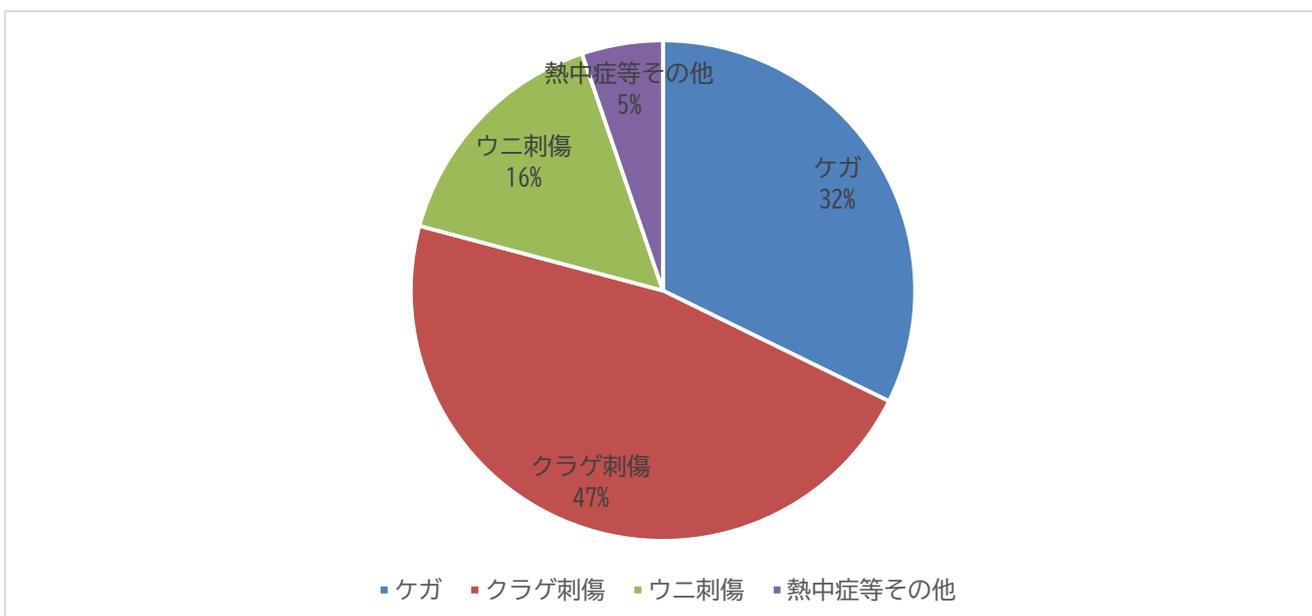
宿泊は地元の民宿にお世話になり、空き時間にはBLUE FLAG（ブルーフラッグ：※1）を取得した若狭和田ビーチのきれいな海を楽しみました。



【海と地域医療体験ツアー2024 救護所ボランティア実績】

岩場で足を切った方、クラゲに刺された方、ウニのトゲが刺さった方など、96人の患者さんが救護所を利用され、若狭高浜病院、和田診療所の医師（研修医含む）、看護師、過去のツアー参加者の指導のもと、参加者が主体的に適切な処置を行うとともに、各種レクチャーを実施しました。

救護所対応内訳（計96人）※救護所において、本ツアーで対応した人数のみを集計



【2024年参加者の「声」】

- 1週間弱このツアーに参加させていただいて高浜町のことをより深く知ることができました。医療的な物だけでなく肌で高浜町を感じ体験させていただいたのは今後必ず役に立つと思います。短い間でしたがとても有意義な時間を過ごさせていただき大変勉強になりました。一緒にツアーに参加してくれた同期や後輩にも恵まれ大変楽しい時間が過ごせたと思います。1週間お世話になりました。また高浜に実習でまわりたいと思います。
- 来る前に想像していた100倍学びが多く楽しい実習でした。高浜町が大好きになりました。
- 実習の合間に夏休みが2週間しかなく、参加するか迷っていましたが今回高浜にいかせていただいてとても楽しかったです。地域医療やプライマリーケアなど言葉では聞いたことがあってもどのようにそれを行っているのか全く想像がつかなかったので知れるいい機会となりました。皆さんにとっても暖かく接していただいたので少しでもそれを返せるよう、直接的でなくても高浜町にまた関わられるよう頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。
- 実りある5日間でした！海も山もある高浜町は人口こそは少ないけど、地域みんなが明るくて医療や産業などで人と人が繋がってコミュニティができてるのがすごいなって思いました。福井県にはとても行くのが遠くて頻回には行くことができないけど来年も参加したいです。
- 参加者が1人だったので最初は不安でいっぱいでしたが、1人だったからこそ先生たちや他のスタッフさんを独り占めさせていただいて、大変学びが多い数日間を過ごすことができました。何よりすごく楽しかったです。
- 高浜町の事情や、地域医療について大変よく学べました。とにかく楽しかったです。
- 総合診療医がどのような医師なのか大まかに知ることができた気がする。今後の人生においてとても勉強になりました。ありがとうございました。
- 地域医療は住民の方との距離の近さを実感できた。
- いろんな体験ができてすごく濃い5日間でした
- 知らなかった高浜の魅力、私が気づけなかった高浜町が抱える課題、高浜町が目指す地域で守りたいものをたくさん知ることができたイベントでした。他の看護学生にも進めたいですし、私自身、今回の学びを活かして知識を深め、多くの経験をつみ、来年も参加したいと思いました。何より、楽しみながら学べる環境だったので、より地域医療、家庭医療に興味がわきました。いつも楽しいことばかりではないと思いますが、高浜町の医療に触れて、地域の方々を見て、医療従事者を見て、これまで感じることがないくらい医療機関があたたかく、笑顔と笑声で溢れている素敵で魅力的な場所だと感じました。
- 医学部生として日々過ごしているだけではなかなか経験できない地域医療のすばらしさを体験できた。ただ医師一人だけで医療は完結することはなく、看護師や理学療法士を含んだ多職種連携はもちろんのこと、患者さんもチームの一員としてともに病気に立ち向かうという姿勢が大切だと感じました。貴重な体験をありがとうございました。
- 参加して良かったと心から感じました。普段触れることない、地域医療や救護所でのボランティアは何もかもが自分にとって新鮮で新しい経験でした。出会った仲間や先生方にたくさん支えられ、今までにない体験をすることが出来ました。医療・看護における自分の視野を広げ、今後を考えるための良いきっかけとなりました。また皆さんと会えることを楽しみにしています。ありがとうございました。
- この様な貴重な機会を誠にありがとうございました。。自分の出身地にこのような最先端の地域医療がなされている場所があることを知りませんでした。高浜の医療者の方は患者さん一人一人の生活背景を把握し、患者さんに寄り添った治療を行っており、地域医療の魅力を実感すること

ができました。医学に対する知識を深め、また高浜で勉強させていただきたいです。5日間誠にありがとうございました。

- 地域医療を学ぶことができる、貴重な機会いただきありがとうございました。今後、総合診療の道で今回の経験を活かしたいと思います。
- あっという間の5日間でした。本当にお世話になりました。
- 今年もお世話になりました。去年見た景色、感じた温かさがどうしても忘れられず、また行きたい！！と思い、今年も参加させていただきました。また新しい最高の仲間と共に4泊5日を過ごせて幸せでした。どんな看護師になりたいかという看護師像が段々と見えてきている気がします。また必ず戻ってきます！^^本当にありがとうございました。

【これまでの参加者の「声」】

「地域医療の現場を実際に見ることで、理解を深めることができた。」

「地域医療がどのように行われているのか、福祉とどう連携しているのかを現場で見ることができた。」

「地域の人と生きることの大切さを学んだ。」

「海の綺麗さに驚いた。」

「学びも遊びも盛りだくさんで楽しかった。」

「地域自体の魅力、人の優しさ、医療者・介護スタッフ・住民の方々との絆の強さを五感で感じることができる充実した5日間だった。実際に行かないと分からない医療者としての心構えや理想の医師像を考える貴重な経験となった。」

「土日の救護所では、ライフセーバーの皆さんともたくさん交流ができた。」

「漠然としていた地域医療や診療所のイメージが確実なものに変わった。」

「同じ民宿で生活することで様々な話をすることができ、仲良くなることができた。」

「学校での座学や実習では学べないことをたくさん学べた。スタッフの方々も研修中に気さくに話しかけてくださり、質問しやすく、学びやすい雰囲気だった。」

「他校の友人もでき、地域の暮らしを見ることができたのはもちろんのこと、地域で問題となる医師不足や高齢化について考えられたこと、患者さんや利用者さん一人ひとりに合った治療とサービスを提供できる良い点にもたくさん直面できたことがとても良い経験になった。」

「常に一人の人の心理や社会にも目を向けて、その方に合ったものを提供できるようになりたいと感じた。そのために、医療者同士、医師と患者さん、そして多職種の方々としっかり連携を図り、信頼関係を作り上げようと思う。」

「5日間、寝食を一緒にすることで、今日の出来事や地域医療について話すことができ、とても有意義な5日間となった。」

「今まで漠然としたイメージだけだった地域医療を具体的にみることができ、たくさんのことを学べた。」

「将来、家庭医療をやっていく勇氣と志を与えてくれた。」

「家庭医療学で大切となる多くのことは、他の科でも大切な事だと思う。この気持ちを忘れず、大学病院の実習や臨床研修に臨みたい。」

「勉強、遊びと盛りだくさんなイベントだった。」

「地域医療について万遍なく学べて、海でも遊べて本当に素敵なプログラムだった。」

「研修医の先生方ともたくさん交流出来て良い経験となった。」

「フィードバックの時間に、先生方からコメントを頂けるのがとても良い学びとなった。」

「5日間の中で、様々な種類の実習ができて良い経験となった。」

「救護所ボランティアでのライフセーバーとも交流も楽しかった。」

「最初のウェルカムレクチャーをはじめとした先生方のお話がとても楽しく勉強になった。」

「医学生、看護学生と混じっての地域医療研修は、色々な気付きがあって良い刺激となった。」

「絶対に戻ってきたい場所となった。」

「大学病院の実習では経験出来ない、患者さんと地域行政の密なつながりの中で行われる医療を経験できて良かった。」

「海ならではのトラブルの初期対応が学べて勉強になりました。日中の海に初めて行ったので、海も楽しかったです！」

「患者さんと先生の距離が近く、先生の患者さんに対する接し方がとても勉強になった。訪問診療がない日であったのに、アポを取ってくださり実際に見せてもらえてうれしかったです。」

「普段は話すことの無いような人とコミュニケーションをとったり、した事の無い応急処置をすることができた点がよかったです。」

「訪問診療では、地域の人との関わり方や生活場所の様子を実際に見ることができて新しい学びがたくさんあった。」

「スタッフの方々が明るいし、優しいし、患者様と親身になって話しているのが印象的でした。」

「先生たちが優しくて色々教えてもらえたとし、お昼ご飯も一緒に食べることができてよかった。実際に働く看護師さんの話も直接聞くことができてよかった。」

「ひとりひとりの振り返りに対して丁寧に返答して下さって嬉しかった。みんなで考えを共有できる時間があることで新たな考えが浮かんだ。」

「今までの実習の中で一番対応の良い場だった。」

「カンファレンスや回診に参加させていただき、貴重な経験ができました。回診では色々な知識を教えていただき、面白かったです。」

「訪問診療に同行し、高浜町にいる通院が困難な患者さんの生活状態と、それに向き合う医師看護師の仕事を目の当たりにすることができた点が非常に勉強になった。」

「僕たち主体の救護所の仕事を体験させていただけることで来られた方と積極的にコミュニケーションをはかろうという意欲が生まれたと思います。」

「限られた物品でその場でできる処置を学ぶことができました。空き時間には先生方と家庭医療についてお話しする機会があったり、今後の進路についても相談にのっていただけだったので、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。実際にウニの棘を抜くのは難しかったです。先生方からコツを教えていただけ、学びの多い時間でした。」

「自分で誰かに対して、医療的な処置を行うのは初めてに近かったのでとても緊張したが、一緒にいてくださる看護師さんや医師、研修医の指導のもと行うことができ、今後の自信に繋がりましたし、とても良い経験でした。」

「(昨年から引き続き今年も参加) 去年やったことを思い出しながら、対応できた。処置は素早く、誰かが処置をしているときは、患者さん本人やその家族の不安を感じさせないように隣にいてお話を。素晴らしい景色と共にボランティアできて最高でした。」

【最後に】

参加者や関係者の皆さま方の多大なるご理解、ご尽力を賜り、本年のツアーを開催することができました。

地域医療への理解の促進、地域医療・プライマリケアに必要な、患者中心の医療、医師の責任性、チーム医療についての理解を提供できたと考えます。さらに、地域医療に対するモチベーションを高め、地域医療を目指したい者を増やすとも考えられました。JCHO若狭高浜病院や和田診療所スタッフも様々なことに気づかされ、学ぶことができました。地域にとって有益な効果があったと感じています。

また、ツアーで知り合った参加者同士の関係は貴重なもので、今後もこのような交流を提供し続けたいと考えています。

今後も出来る限り多くの方のご意向に添えるよう、スタッフ一同尽力して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年のツアーも多くの方のお力添えなしには成功し得なかったという確信のもと、ここに改めて御礼の意を表したいと存じます。本当にありがとうございました。

【参考】

※1：BLUE FLAG (ブルーフラッグ)



世界約50ヶ国・約4,000ヶ所で取得されているビーチ・マリーナの国際認証です。取得するには、4項目33の基準が定められており、厳しい審査をクリアしたビーチ・マリーナにのみ「優れたビーチの証」として世界に認定されます。(毎年更新) 高浜では、美しい海を次の世代へ残していくために、「100年後もキレイな海を子どもたちへ」を合言葉に取り組んでいます。

救護所ボランティアを実施する若狭和田ビーチでは、2016年にBLUE FLAGをアジアで初めて取得し、本年で7年連続取得をしています。

